










「お嬢さん、一人で男待ちかい？
どうかな？
俺とちよっと休憩でも…」

「はあ…全く頭の悪いお誘いで…
粗末なペニスしか持ち得ない殿方は
お呼びでないのですが…」

「どうだい？俺のも中々でしょ？
お眼鏡にかなうかな？」



「いやいや俺は立派なモノを
お持ちだよ…どう？
ちよっとだけ遊んでいかない？」

「ふう…まあ、本番は
無しという事なら…」

「…なるほど、言っただけの
事はありませんね」



「おおツ出るツ!!!」

「んぐツ…なんとも…
無駄に濃い精液ですね…」



「うおお…ツ！…すげえ舌使いだ…!!
どれだけの数のチンポを
しゃぶって来たんだ…!!?」



「なあ、こゝまで来て回だけなんて
逆に失礼だろ…いいだろう?」

「はあ…まあ良いでしょう」

「私、避妊はしない主義ですので
生でお願いしますね」

